

る。30代よりも40代の方が「なんとも思わない」割合が約10ポイント多く、年齢による直線的な関係になっていない。60歳以上では「見たことがない」人が3～4割にのぼる。

第4節 事件・問題と反対運動

1. 事件や問題の見聞

Q7 あなたの近くのモーテル・ラブホテルで、今までに事件や営業に関する問題を見たり聞いたことがありますか。

1. ある 2. ない 3. 近くにはない

調査票Q7で「あなたの近くのモーテル・ラブホテルで、今までに事件や営業に関する問題を見たり聞いたことがありますか」とたずねたところ、「ある」という回答は5.0% (52人)、「ない」50.6% (524人)、「近くにはない」44.3% (459人)、無回答は0.0% (0人)であった。

具体的な事件をQ7-1でたずねており、その結果を以下に示す。なお、()内のパーセントは、全体の中の割合である。また、【 】内のパーセントは、この設問で「近くにはない」と答えた人459を分析対象から外した人、すなわち近くにモーテル・ラブホテルがあると認知している576人を分母とした割合である。

ア) 殺人、強盗、傷害などの事件	33人 (3.2%)	【5.7%】
イ) 強姦、強制わいせつなどの事件	10人 (1.0%)	【1.7%】
ウ) 売春 (成人によるもの)	17人 (1.6%)	【3.0%】
エ) 18歳未満の援助交際	19人 (1.8%)	【3.3%】
オ) 覚せい剤・シンナーなどの薬物事件	14人 (1.4%)	【2.4%】
カ) 家出少年少女の出入り	12人 (1.2%)	【2.1%】
キ) 18歳未満の少年少女の出入り	23人 (2.2%)	【4.0%】

Q7で「あなたの近くのモーテル・ラブホテルで、今までに事件や営業に関する問題を見たり聞いたことがありますか」という質問に対して「ある」と答えた人に、サブクエスチョンとして、「あなたの近くのモーテル・ラブホテルで以下のような事件が起きたことはありますか」とたずねた。この質問の回答で「ク) その他の事件が起きたことがありましたら、自由にお書きください」を選択し記入した人は次の2名であった。自殺と殺人である。

女 23 飛び降り自殺。

男 50 近くではないが、知っている女性が殺人があった。

2. 建設反対運動

Q8 近隣のモーテル・ラブホテルの建設で、付近住民の反対運動が起きたことはありますか。

1. ある 2. ない 3. 近くにはない

調査票 Q8 で「近隣のモーテル・ラブホテルの建設で、付近住民の反対運動が起きたことはありますか」とたずねたところ、「ある」との回答は 4.7%（49 人）であった。

さらに「ある」と回答したその 49 人にも、その反対運動の理由を Q8-1 でたずねている。以下に列記する。なお、（ ）内は「ある」と答えた 49 人の中における割合である。

- | | |
|-----------------|--------------|
| ア) 子供の教育上よくないから | 95.9% (47 人) |
| イ) 外観がよくないから | 49.0% (24 人) |
| ウ) 事件などの不安 | 63.3% (31 人) |
| エ) 車両の通行などの騒音 | 34.7% (17 人) |
| オ) 性的イメージが不快だから | 77.6% (38 人) |

また、「ある」と答えた人に、サブクエスチョンで、「モーテル・ラブホテル建設反対の理由は何でしたか」と質問した。この質問の回答で「カ) その他の理由」を選択し、なおかつ記入した人は次の 1 名であった。Q1 での禁止区域での回答と重なる。

男 53 学校に近いから。

3. 近隣にモーテル・ラブホテルができた場合の態度

Q9 あなたは、近隣にモーテル・ラブホテルが建設された場合、どのように考えますか。

1. 反対 2. 賛成 3. わからない

図4-9A もし近隣に建設された場合（男性）

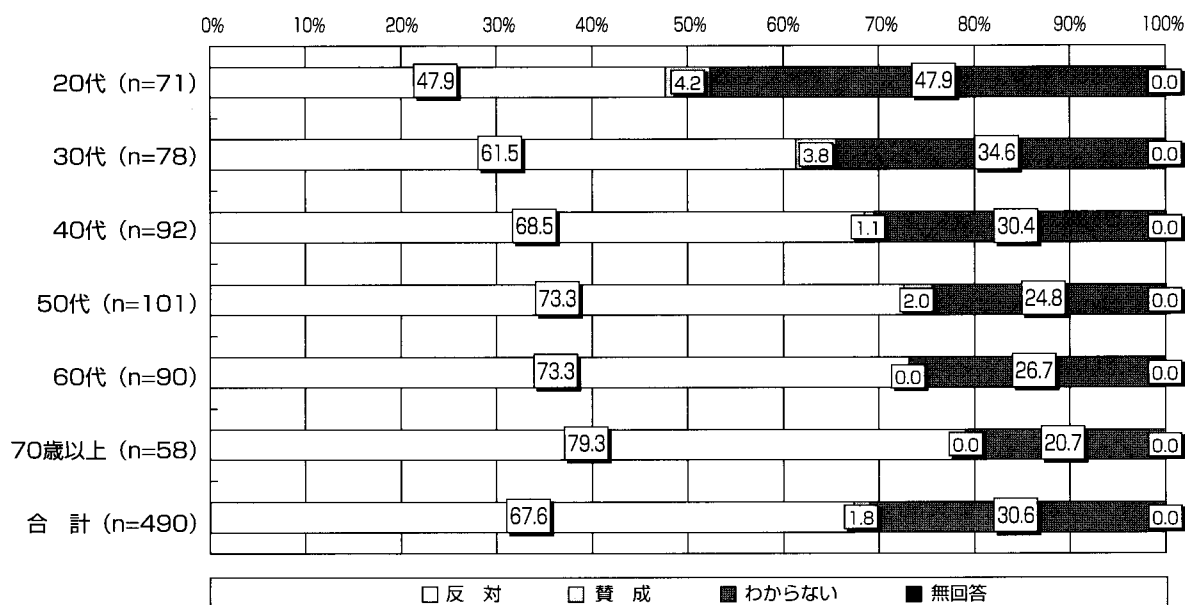
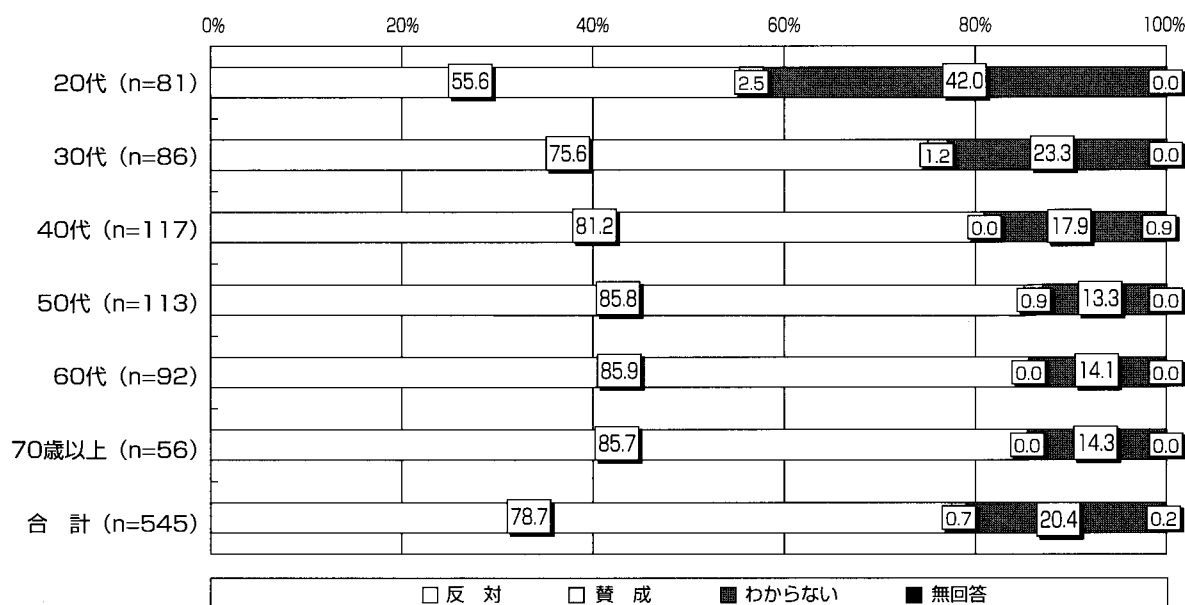


図4-9B もし近隣に建設された場合（女性）



調査票 Q9 で「あなたは、近隣にモーテル・ラブホテルが建設された場合、どのように考えますか」とたずねた。図 4-9A は男性の、図 4-9B は女性の態度を示している。

帯グラフ左側の無地の部分が「反対」という態度であり、男女ともに年齢が上がるにつれてその割合も大きくなっていくことがわかる。男性の場合、20代で約半分、40～60代で7割、70

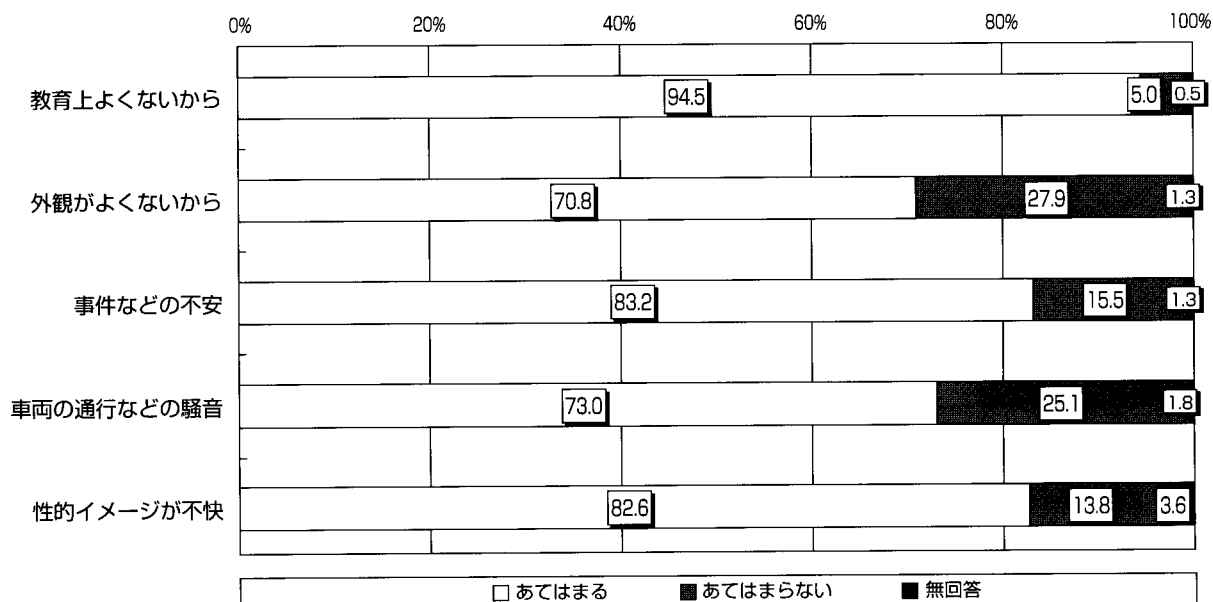
歳以上だと8割が反対という態度をとる。女性の場合、20代で半分以上が、40代以上では8割以上が反対という態度である。全体では男性の7割、女性の8割がこうした回答をしている。

「賛成」という態度は男女いずれの年代でも数パーセントにすぎず、「反対」という態度と反比例するのは、「わからない」という態度である。

(1) 反対の理由

Q9-1 モーター・ラブホテル建設反対の理由は何ですか。		
	あてはまる	あてはまらない
ア) 子供の教育上よくないから	1	2
イ) 外観がよくないから	1	2
ウ) 事件などの不安	1	2
エ) 車両の通行などの騒音	1	2
オ) 性的なイメージが不快だから	1	2
カ) その他の理由 ()		

図4-10 建設反対の理由 (n=760)



先の設問で「反対」という態度をとった73.4% (760人) にのみ、その理由をQ9-1で「モーター・ラブホテル建設反対の理由は何ですか」と5項目を提示してたずねている。以下、図4-10は、その結果を示したものである。

反対の理由としてもっとも多く挙げられているのは、「教育上よくないから」というものであり、9割を超えている。次いで「事件などの不安」「性的イメージが不快だから」という理由が8割強、そして「車両の通行などの騒音」「外観がよくないから」が7割となっている。

また、この質問の回答で「その他の理由」を選択し、なおかつ記入した人は次の9名であった。

9名中6名は、Q1の禁止地域での回答と重なる。住宅地域、文教地域では反対であるし、そうした地域の風紀上の問題として反対している。さらに、カラオケの騒音、夜間のライト、渋滞、ゴミと、飲食店、コンビニ、等とも共通するであろう問題点が提示されている。

- 女 23 ホテル設備のカラオケの騒音。夜間のライトなど。
- 女 30 地域の風紀が乱れるため。
- 女 30 渋滞の邪魔になる。
- 女 40 住宅街にはそぐわないし、静かに暮らしたいと思う。
- 女 46 住宅地なので、建ったら変に浮き上がっておかしい。住みごちがとても悪くなるような気がします。
- 女 49 住宅街には作って欲しくない。環境が悪くなりそう。
- 男 27 近くに小・中学校があるため建てられないので安心している。
- 男 34 ゴミが町に増える。
- 男 53 地域・地区の風紀上よくない。

(2) 賛成の理由

先の「近隣にモーテル・ラブホテルが建設された場合」に賛成という態度をとる人にも、その理由をQ9-2で問うているが、賛成という態度は13人（1.3%）しかいなかった。

この「賛成」という13人に理由としてあてはまるかどうか3つたずねた結果、「近隣の住民が利用しやすくなる」という理由があてはまるもの7人、「他の営業に好影響が期待できる」というもの6人、「自分の家の近くでなければ賛成」というもの8人であった。

なお、Q9-2では、Q9で「賛成」と答えた人に、サブクエスチョンで「モーテル・ラブホテル建設賛成の理由は何ですか」と質問したが、この質問で「エ）その他の理由」を選択しかつ記入した人はいなかった。

第5節 その他の風俗営業等に対する意識

1. 風俗営業等の種類による意識

Q10 あなたは、近隣に以下のものが建設された場合、どのように考えますか。

	反対	賛成	わからない
ア) パチンコ・スロット店	1	2	3
イ) マージャン店（雀荘）	1	2	3
ウ) ゲームセンター	1	2	3
エ) キャバレー・キャバクラ	1	2	3
オ) ソープランド	1	2	3
カ) ストリップ劇場	1	2	3

モーテル・ラブホテル営業についてたずねたのと同様に、その他の風俗営業等が近隣に建設された場合の態度について「あなたは、以下のものが建設された場合、どのように考えますか」とQ10でたずねた。設問項目はパチンコ・スロット店、マージャン店（雀荘）、ゲームセンター、キャバレー・キャバクラ、ソープランド、ストリップ劇場の6つであり、「賛成」「反対」「わからない」の3択で答えてもらった。

図4-11 風俗営業等に対する態度 (n=1035)

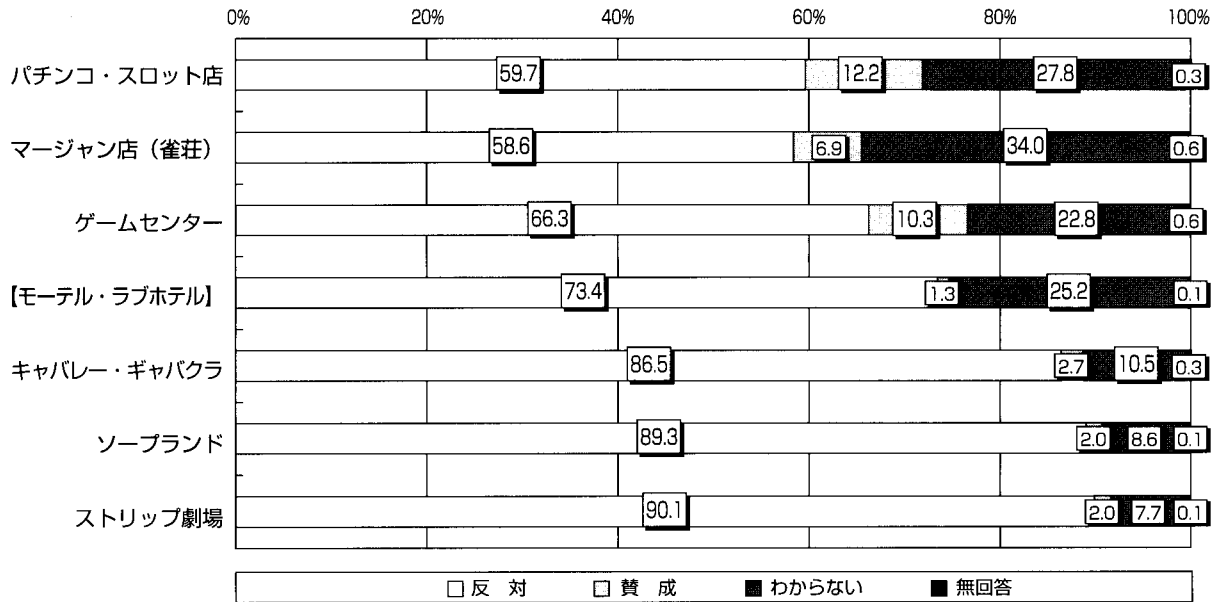


図4-11は、営業の種類別に住民の態度を示したものである。なお、図の中の【モーテル・ラブホテル】とあるものは、この設問ではなく、Q9でモーテル・ラブホテルが近隣に建設された場合をたずねた回答の数値である。

パチンコ・スロット店やマージャン店、ゲームセンターといった遊興的な営業には6割前後が反対という態度をとり、キャバレー・ギャバクラ、ソープランド、ストリップ劇場といった性的な営業では9割前後が反対という態度をとることがわかる。

モーテル・ラブホテル営業は、遊興的なものと性的な風俗営業のちょうど間に位置することがわかる。

第6節 高級シティホテルとのイメージ比較

1. 高級イメージホテルとのイメージ比較

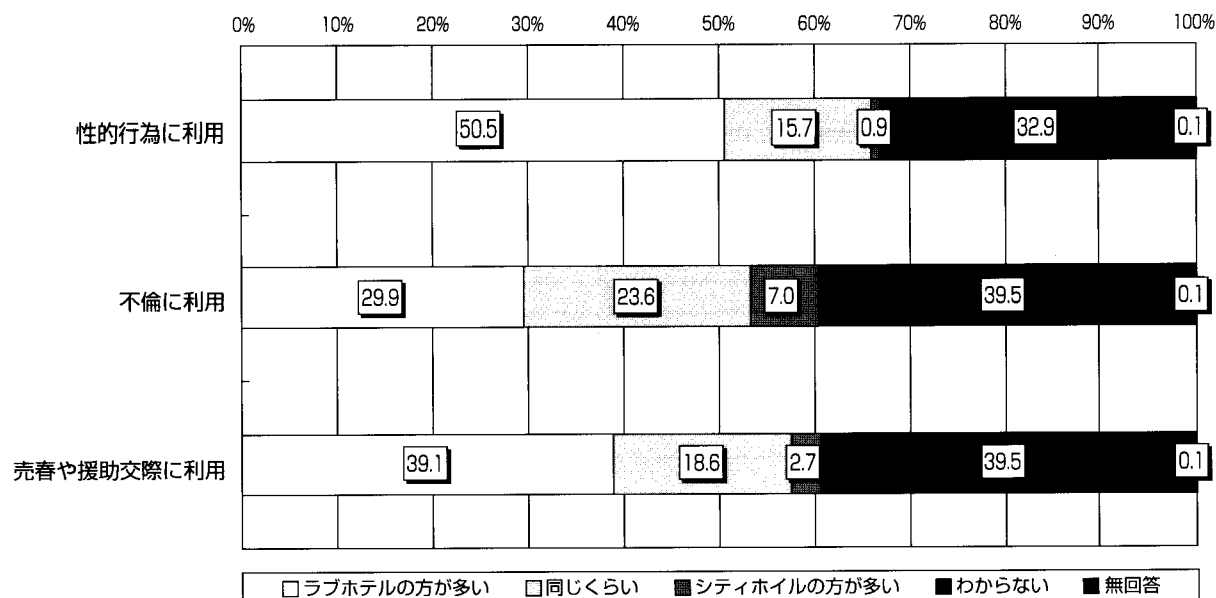
Q11 あなたは、モーテル・ラブホテルと高級シティホテルとを比べてみて、次のことをどう思いますか。

- ア) 性的行為に利用されていること
- イ) 不倫に利用されていること
- ウ) 売春や援助交際に利用されていること

(選択肢は、 1. モーテル・ラブホテルの方が多い 2. 同じくらい)
3. 高級シティホテルの方が多い 4. わからない)

調査票Q11で、「あなたは、モーテル・ラブホテルと高級シティホテルとを比べてみて、次のことをどう思いますか」とたずね、イメージの比較を試みている。

図4-12 高級シティホテルとのイメージ比較 (n=1035)



ラブホテルとシティホテルで「同じくらい」という回答に注目すると、「性的行為に利用」16%、「不倫に利用」24%、「売春や援助交際に利用」19%となっている。不倫に関しては、4人に1人がどちらともかわらないと見なしているのである。3割から4割の人が「わからない」と答えている。

2. 性的行為に利用されているイメージ

表4-7 「性的行為に利用されている」イメージ (%)

	ラブホテルの方が多い	同じくらい	シティホテルの方が多い	わからない	無回答	合計	人数(人)
20代男	52.1	22.5		23.9	1.4	100.0	71
30代男	52.6	30.8		16.7		100.0	78
40代男	60.9	15.2		23.9		100.0	92
50代男	49.5	13.9	2.0	34.7		100.0	101
60代男	41.1	12.2	1.1	45.6		100.0	90
70歳以上男	41.4	12.1	3.4	43.1		100.0	58
男 小計	50.0	17.6	1.0	31.2	0.2	100.0	490
20代女	56.8	17.3		25.9		100.0	81
30代女	62.8	17.4		19.8		100.0	86
40代女	58.1	15.4	0.9	25.6		100.0	117
50代女	47.8	12.4	0.9	38.9		100.0	113
60代女	39.1	10.9	1.1	48.9		100.0	92
70歳以上女	35.7	8.9	1.8	53.6		100.0	56
女 小計	51.0	13.9	0.7	34.3		100.0	545

※ 空欄は0.0である。

表4-7は、「性的行為に利用されている」のはモーテル・ラブホテルと高級シティホテルではどちらが多いかとたずねた結果を性別・年代別に示したものである。

「性的行為に利用されている」割合は、30代男性の3割、20代男性の2割が「同じくらい」と見なしている。それ以外の年代で「同じくらい」と見なしている割合は男女とも十パーセント台である。

3. 不倫に利用されているイメージ

表4-8 「不倫に利用されている」イメージ (%)

	ラブホテルの 方が多い	同じくらい	シティホテル の方が多い	わからない	無 回 答	合 計	人数 (人)
20代 男	28.2	26.8	12.7	31.0	1.4	100.0	71
30代 男	30.8	34.6	9.0	25.6		100.0	78
40代 男	30.4	28.3	6.5	34.8		100.0	92
50代 男	35.6	16.8	6.9	40.6		100.0	101
60代 男	31.1	13.3	5.6	50.0		100.0	90
70歳以上 男	22.4	19.0	8.6	50.0		100.0	58
男 小計	30.4	22.9	8.0	38.6	0.2	100.0	490
20代 女	32.1	29.6	9.9	28.4		100.0	81
30代 女	27.9	34.9	11.6	25.6		100.0	86
40代 女	37.6	27.4	5.1	29.9		100.0	117
50代 女	31.0	17.7	5.3	46.0		100.0	113
60代 女	21.7	20.7	2.2	55.4		100.0	92
70歳以上 女	19.6	12.5	1.8	66.1		100.0	56
女 小計	29.4	24.2	6.1	40.4		100.0	545

※ 空欄は0.0である。

「不倫に利用されている」のはラブホテルもシティホテルも「同じくらい」という回答は、男女とも2割強であり、5人に1人がそう見なしていることになる。とりわけ、20～40代では、3割前後がそう回答している。

4. 売春や援助交際に利用されているイメージ

表 4-9 「売春や援助交際に利用されている」イメージ (%)

	ラブホテルの 方が多い	同じくらい	シティホテル の方が多い	わからない	無 回 答	合 計	人数 (人)
20代男	39.4	23.9	4.2	31.0	1.4	100.0	71
30代男	42.3	28.2	3.8	25.6		100.0	78
40代男	33.7	23.9	4.3	38.0		100.0	92
50代男	45.5	12.9	3.0	38.6		100.0	101
60代男	38.9	12.2		48.9		100.0	90
70歳以上男	24.1	19.0	8.6	48.3		100.0	58
男 小計	38.2	19.6	3.7	38.4	0.2	100.0	490
20代女	49.4	19.8	1.2	29.6		100.0	81
30代女	46.5	26.7		26.7		100.0	86
40代女	40.2	22.2	4.3	33.3		100.0	117
50代女	38.9	13.3	0.9	46.9		100.0	113
60代女	32.6	12.0	3.3	52.2		100.0	92
70歳以上女	30.4	8.9		60.7		100.0	56
女 小計	40.0	17.6	1.8	40.6		100.0	545

※ 空欄は0.0である。

「売春や援助交際に利用されている」のは「同じくらい」だと、男女とも2割弱が見なしている。男女ともに、20～40代と50代以上との間にイメージの違いが見られる。40代までは2割前後がそう考えているが、50代以上では1割前後と、倍の差がついている。

5. ホテルに対するイメージと法規制意識

図4-12から、「不倫に利用されていること」ではモーテル・ラブホテルも高級シティホテルも「同じくらい」だと、4人に1人が見なしていることがわかった。そこで、ここで不倫利用のイメージと法規制意識との関係を分析する。図4-13が両者の関係を表した図である。

図4-13 不倫利用のイメージと法規制意識

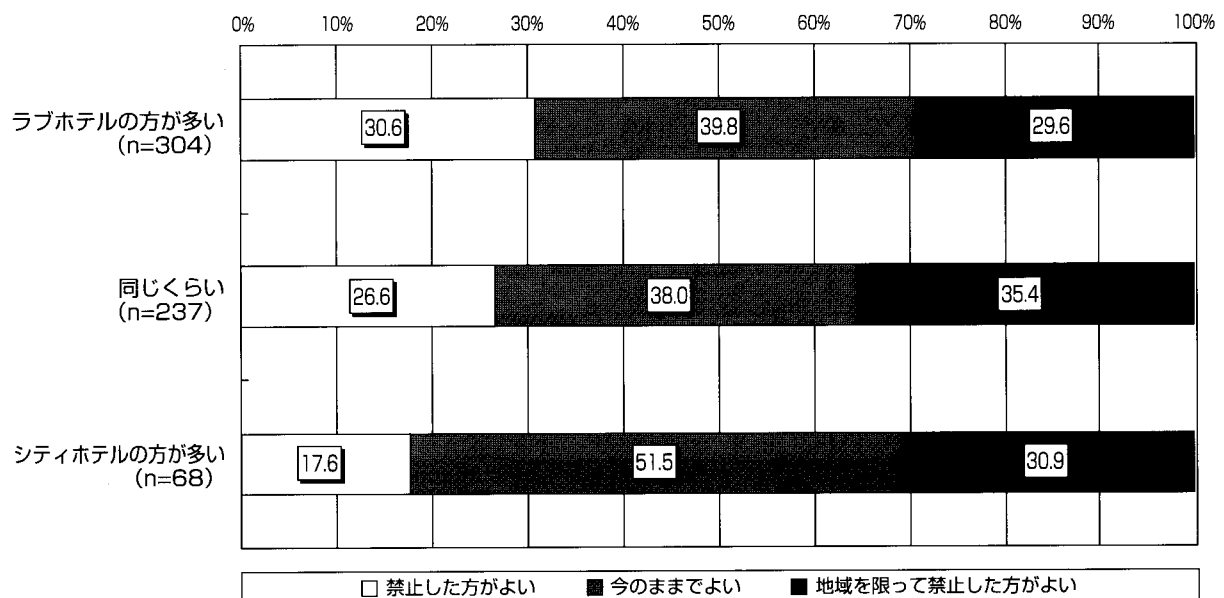


表4-8から、高齢者になるほど「わからない」と回答する傾向が見られた。そこで、不倫に利用されているかどうか「わからない」という回答と無回答を欠損値とした。また、法規制意識についてもわずかしかなかった「禁止の必要はない」という回答と無回答を欠損値とした。分析対象となったサンプル数は、「ラブホテルの方が多い」304人、「同じくらい」237人、「シティホテルの方が多い」68人の計609人である。

この図4-13から、シティホテルの方が不倫に利用されていると考える人は、そうでない人に比べて法規制を求める意識がない傾向が見られる。「地域を限って禁止」という意見に差は見られないが、「禁止」を求める人は「ラブホテルの方が多い」31%、「同じくらい」27%、「シティホテルの方が多い」18%となるのである。ただし、カイ自乗検定の結果は $p=0.116$ であり、統計的有意差は見られなかった。